

1

大日本印刷株式会社

	各社の考え方
① 算定を行う 背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品のライフサイクル全体でのGHG排出量の削減が重要と考え、自社の製造段階だけでなく、間接的に排出するサプライチェーン全体でのGHG排出量(Scope3)を算定し、削減対策を実施、2010年度から毎年削減している。 ● 当初国内のみの集計を行っていたが、GHG排出量の削減には、国内のみならず海外を含むグローバル規模での展開が必要と考え、2014年度からは主要海外サイトを含めたDNPグループ全体の算定を行っている。 ● 算定結果をもとに、サプライチェーン全体での排出量削減に向け、各種取り組みを推進していく。
② 算定結果の 活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外を含めたDNPグループサプライチェーン全体の排出量について、一定の算定方法を確立することにより、経年的な排出量の増減を定量的に確認する。 ● 多岐に渡る物品の取扱いに関連して、サプライチェーンを通じた排出量の算定方法を習得し、物量データ等をデータベース化する。 ● サプライチェーンを通じた排出量集計を、細分化することで、製品群別、得意先別、製品別(カーボン・フットプリント)のデータ集計を行い、得意先からの開示要求に対応する。
③ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記活用方法を通じて、削減ポテンシャルの明確化、算定手法の洗練化、得意先の開示要求への対応および各種調査機関への回答等が可能になる。
④ 社内の 算定体制	<ul style="list-style-type: none"> ● データを全社の関連部署、関連会社から集め、環境部門で算定を実施。 ● データ収集元は、購買部門(カテゴリ1, 4)、経理部門(カテゴリ2)、環境部門(カテゴリ3, 4, 5)、労務部門(カテゴリ6, 7)、管理部門(カテゴリ9, 11, 12)、関連会社(カテゴリ15)である。

2

大日本印刷株式会社

	各社の考え方
⑤ サプライチェーン 排出量の削減に 向けて	<ul style="list-style-type: none"> ● グリーン購入の推進、環境配慮製品の開発・販売、また原材料・中間製品の輸送の効率化等を行い、削減を推進している。 ● カテゴリ1「原材料・資材の調達」段階での排出量が全体の60%以上と多い。引き続き削減に向けた取り組みを進めていく。
⑥ サプライチェーン 排出量算定の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● DNPグループの製品は中間製品が多く、下流の販売した最終製品の使用段階(カテゴリ11)の算定が困難であるため、DNPグループが国内で製造したPETボトル(プリフォーム)使用時のエネルギー(ペットボトルに加工され、飲料として売られたものが冷却される際に使用されるエネルギー)のみを対象とした。 ● 他の部品の加工・使用については、完成製品全体に占める重量が小さい、または加工・使用の際のエネルギー使用がないため、算定対象外とした。
⑦ その他 (任意)	<ul style="list-style-type: none"> ● 算定の中立・妥当・透明性を保証するため、第三者機関による検証・認証を行っている。

3

大日本印刷株式会社

カテゴリ	算定方法 ※算定対象期間：2018年4月～2019年3月	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> 原材料・資材購入量(重量、金額) (重量>金額の優先順位で把握) 	<ul style="list-style-type: none"> CFP基本・利用可能DB 3EID (CFP>3EIDで利用)
カテゴリ2「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> 土地・建物や機械器具の取得金額 	<ul style="list-style-type: none"> 原単位DB*
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	<ul style="list-style-type: none"> 燃料、電気、蒸気のエネルギー使用量 	<ul style="list-style-type: none"> CFP基本DB 原単位DB*
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	<ul style="list-style-type: none"> 荷主輸送分のトンキロ、サプライヤ輸送分の推定トンキロ(※) (※積載量、積載率、輸送距離についてシナリオを設定し、購入重量に基づきトンキロを推計。購入重量が判らないものは、判明しているものの単位金額当たりの重量を利用し、購入金額より重量を推計。) 	<ul style="list-style-type: none"> CFP基本DB
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の種類別・処理方法別の重量 	<ul style="list-style-type: none"> 原単位DB*
カテゴリ6「出張」	<ul style="list-style-type: none"> 出張・近隣移動の推定旅費(※)、交通費支給額、宿泊日数 (※移動手段別に代表的経路をシナリオ設定し、利用回数から算出) 	<ul style="list-style-type: none"> 原単位DB*
カテゴリ7「雇用者の通勤」	<ul style="list-style-type: none"> 通勤手段別の支給金額 	<ul style="list-style-type: none"> 原単位DB*
カテゴリ8「リース資産（上流）」	<ul style="list-style-type: none"> リース資産で使用したエネルギー使用量(Scope1・2内で算定) 	<ul style="list-style-type: none"> —
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	<ul style="list-style-type: none"> 紙製印刷物等5製品種別の推定輸送トンキロ(※)、販売容量、販売額 (※CFP制度のPCRIに基づき、算定対象種類毎にシナリオを設定) 	<ul style="list-style-type: none"> CFP基本DB
カテゴリ10「販売した製品の加工」	<ul style="list-style-type: none"> 販売した製品の加工なし、又は最終製品の構成割合が微小なため、算定対象外 	
カテゴリ11「販売した製品の使用」	<ul style="list-style-type: none"> 国内におけるPET飲料の冷蔵の推定使用電力量(※PCRIに基づき推定) 	<ul style="list-style-type: none"> CFP基本DB
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	<ul style="list-style-type: none"> 紙製印刷物等5製品種別の処理方法別廃棄物排出量(※PCRIに基づき推定) 	<ul style="list-style-type: none"> CFP基本・利用可能DB
カテゴリ13「リース資産（下流）」	<ul style="list-style-type: none"> 該当する活動がないため算定対象外 	
カテゴリ14「フランチャイズ」		
カテゴリ15「投資」	<ul style="list-style-type: none"> 関連会社(持分法適用)のGHG排出量 	
「その他」	<ul style="list-style-type: none"> オプションカテゴリであるため、算定に含めない 	

4

大日本印刷株式会社

サプライチェーン排出量算定結果

